

令和5年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 定5

千葉県立市川工業高等学校 定時制の課程 工業科

1 期待する生徒像

次の全てを満たす生徒

- ア 工業分野に興味・関心を持ち、工業技術の修得及び課題達成のために、意欲的に取り組むことができる者。
- イ 昼間の時間を有効に活用するために、勤労や多様な学びを実践しようとする者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	3教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
①面接	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1名10分
②作文	字数：400字以上600字以内 検査時間：50分
(4) 志願理由書	志願者の直筆による「志願の理由」及び「自己アピール」

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔300点満点〕

評価項目	評価基準
ア 3教科の得点合計	3教科（各教科100点満点）の合計300点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	0点の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2) 調査書〔135点満点〕

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 合計値が27点または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席の合計について確認する。ただし、欠席日数の多少で不利益な取扱いはいしない。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査〔90点満点〕

①面接〔45点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）、b（標準的である）、c（やや問題がある）、d（問題がある）の4段階で評価する。

aを5点、bを4点、cを2点、dを1点とし、3名の評価者の評価（各15点満点）を合計し、得点化する。評価dが4つ以上ある場合、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機	志望動機、工業分野への興味関心、勤労や多様な学びを実践しようという目的意識等が明確である。
イ 面接態度・学習意欲	誠実さや熱意等の態度が良好で、工業技術の修得や課題達成のための学習意欲が明確である。
ウ 言語応答	言葉遣いが適切であり、応答状況等が良好である。

②作文〔45点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）、b（標準的である）、c（やや問題がある）、d（問題がある）の4段階で評価する。

aを5点、bを4点、cを2点、dを1点とし、3名の評価者の評価（各15点満点）を合計し、得点化する。評価dが4つ以上ある場合、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 文字、記号、用語等	文字・句読点等の使い方、表記等が適切である。
イ 表現・構成	文体、表現、分量、文章の構成等が適切である。
ウ 内容	テーマとの関係、内容の充実度、丁寧さ等が適切である。

(4) 志願理由書

評価項目	評価基準
志願理由等	本校を志願する理由を確認し、総合的に判定する際の参考とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接、作文）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

学力検査 の得点	調査書の得点	学校設定検査の得点		総得点
	評定（K＝1）	面接	作文	
300点	135点	45点	45点	525点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。